

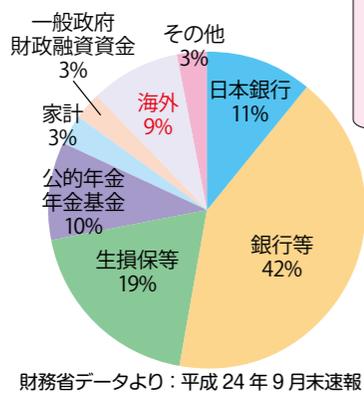
Lesson1

国の債券「国債」

次のテストにチャレンジ! (○それとも×?)

- ①「国債」とは「日本国債券」の略である
- ②国債には利子変動するものもある
- ③国債で一番長い期間は40年である
- ④外国にも「国債」がある
- ⑤国債は元本保証されている

国債（国庫短期証券含む）の所有者別内訳

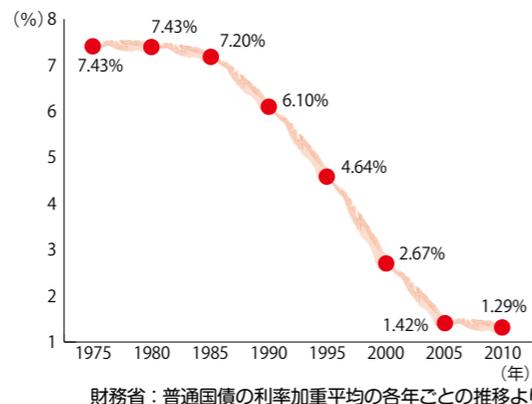


合計 948兆4,177億円

日本の国債は、90%以上を日本国内で保有しているものの、海外保有率が過去最高となっています

2013年4月には、10年新発債の利回りが過去最低を連日更新し、0.315%まで低下しました

日本国債（普通国債）金利の推移



＝解説＝

国債の種類

国が発行し、利子と元本の償還を行う債券が「国債」です。国債には、定期的に利子が支払われる「利付国債」と額面金額を割引いて発行される「割引国債」があります。また、期間も2年、3年、5年、10年、15年、20年、40年などがありますが、個人では購入できるものは限られています。他に、市場に応じて利子変動する変動型や物価連動型、短期割引国債などがあります。日本だけでなく、世界中の国が国債を発行しています。

リスクは低い元本保証ではない

債券の中では、最も信頼度が高いといわれますが、元本保証ではありません。万が一、国が破たんした場合には、お金が戻らない可能性もあるということです。また、長期間の債券を保有すると、仮に元本が確実に戻ってもその額面の価値は、インフレによって下がっていることも考えられます。外国の国債も一部購入できる時代ですが、外国債は為替の変動に加え、その国が抱える財政上の問題などもあり、リスクはさらに高まります。過去にはロシアやアルゼンチンが国債の償還不能になりました。

答えは①⑤の答えは×
②③④は○



『債券』は

どんな仕組み?

たとえば 債券とは

債券は「借入金」みたいなものですね

期日になると全額お返しします。それまでお礼も差し上げます

100,000円

2018年10月1日に返します
毎年1%の金額をお礼に渡します

まだまだ不透明な部分は多いものの、日本のお金や経済に動きが出てきたように感じる今日この頃です。市場も活発に動き出し、マネー運用に関心を持つ人も増えています。しかし、運用にはリスクがつきもの。「なんとなく儲かりそう」「みんながやっているから」ではなく、自身でしっかり理解することからはじめましょう。今回は「債券」がテーマです。

※本原稿は2013年7月時点のものであり、市場の変化にご留意ください。

たとえば ファンドとは

作品のファンだから応援したい!

映画を作りたいけど資金が足りない。映画ファンから資金を募って、ヒットしたら収益を還元しよう

100,000円

2015年9月30日にお返しします
お返しする金額は、営業成績次第です

国債、社債、ファンドについておさらいしてみましょう

